

松 風

福島県公立学校退職校長会

会長あいさつ…………… 1
 評議員会報告…………… 2
 論壇、令和4年度重点事項、他…………… 3
 令和4年度役員名簿、
 令和4年度デジタル化ビジョン、他…………… 4

〒960-8107 福島市浜田町4-16 富士ビル2階
 TEL (024) 534-5411
 FAX (024) 531-1195

会長あいさつ

三年目を迎えた 「コロナ禍」に在って



福島県公立学校退職校長会

会長 佐藤 俊市郎

新緑の候、未だ収束の見通しの立たない状況で三年目を迎える「コロナ禍」に在りますが、令和四年度本会会員二千七百余名の皆さんにおかれましては、お元氣でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

「コロナ感染」状況につきましてでは、今年の三月末までに幾分収束の様相を見せていたのですが、四月に入り全国的に増加傾向を示してきており、本県においても予断を許さない状態になってきています。従いまして、この四月二十七日水曜日に予定しておりました令和四年度評議員会を「書面決裁」にて決議いただき、福島県公立学校退職校長会として今年度の活動を進める運びとなりました。これらの内容をご了承いただきます。

大きくともに、今年度の本会の活動について、ご理解とご協力をお願い致します。

なお、県内十六支部からは、総会・役員会を中止する支部もありながら、様々な手立てを講じて各支部の活動を開始しているとの報告が届いております。

① 第五十七回郡山大会については、昨年六月に「松風百八十号」にてお伝えしたとおり、今年度は開催を一年延期し、令和五年度に開催する予定です。

② 県及び五十九市町村の教育長等への要望活動については、例年通り県小・中学校長会及び高等学校長協会とのヒアリングを経て、その内容を加味した要望書を基に県事務局及び各支部にてそれぞれ活動を行う予定です。

③ 県事務局内に本会の「ホームページ」を立ち上げ、様式を整えるとともに、様々な内容を時宜を失うことなく、全会員にお届けできる情報環境を整える予定です。これについて、是非各支部それぞれにおいて、「支部デジタル化推進員」の設置について配慮を願います。なお、山形や埼玉等の県では昨年度よりホームページを立ち上げ活用をしているとのこと。また、これらの詳細については、別に連絡・報告致します。

さて、今年度の全国連合退職校長会において、全国四十七都道府県に対して、「退職校長会の存在意義と活動」について調査し、まとめられたものが届きました。一部紹介しますと、

《日本の教育について》
 意欲と情熱を持った優秀な教員を得るための人材確保法の堅持とともに、校長等管理職及び教員の職務の特殊性に見合った処遇改善を図るため、
 《全連退の活動》
 文部科学省、厚生労働省、総務省及び国会議員への教育振興や福祉に関する要望活動や提言を積極的に進める

という事項については、約八十%の都道府県が一位に選択していました。

会員の皆さん、「コロナ禍」に在って身動きが取れない今（現在）、県内小・中、学校、高等学校・特別支援学校に在籍している児童・生徒たちは、有為な校長や教員等の指導の下、様々な制約の中で我慢しながら活動し、「二日でも早く存分に学び合い、活動し合う」ことを願っていることと思えます。改めて、本会存立の意義や働きについて、一人ひとり自覚するとともに、微力ながらその働きを機能させていきたいものです。

令和四年度 評議員会報告

第五十七回県大会郡山大会は令和五年度開催予定 福島県公立学校退職校長会のホームページ開設予定

令和四年度評議員会は、

コロナ禍のため、書面決裁

令和四年四月二十七日

(水)、福島市吾妻学習セン

ターで開催予定の評議員会

は、新型コロナウイルス感

染防止のため、中止となっ

た。そのため、十六支部長

宛に評議員会要項等を送

り、書面決裁を行った。

一 会長あいさつ

二 報告

○今年度新入会員入会勧誘

予定者数について

・小学校六十七名・中学校

三十四名・高等学校十七

名・特別支援学校三名、

計百二十一名(前年度比

二十名減)

○理事会報告について

○慶弔関係について

・令和三年度物故会員百六

名(前年度比四名増)

・令和三年高齢者叙勲四十

八名(前年比三名減)

○令和三年度ぬくもり基金

決算報告について

(本頁下欄の通り)

○新入会員の勧誘並びに事

務手続きの確認について

○新型コロナウイルス感染

症にかかるガイドライン

について

三 協議

いづれも書面決裁により

原案のとおり、承認された。

○令和三年度事業報告につ

いて

○令和三年度会計決算報告

について(決算は本頁左

の通り)

○令和四年度活動の重点目

標(案)、事業計画(案)

について

(重点目標は三頁参照)

○令和四年度予算編成の方

針(案)、予算(案)に

ついて

(予算は本頁左の通り)

○ぬくもり基金の活用

(案)について

○第五十七回郡山大会大会

宣言(案)について

・県大会及び体験発表支部

・今年度は実行委員会の立

ち上げ、組織づくり等の

準備

○令和四年度要望活動の方

針(案)について

○福島県公立学校退職校長

会ホームページの開設

(案)について

・デジタル化ビジョン

(四頁参照)

○社会貢献活動について

○役員改選

(新役員等については三

頁下、四頁上参照)

四 事務連絡

○令和四年度「寿詞・賀寿・

賀詞」該当会員名簿、令

和四年高齢者叙勲該当者

名簿について

○令和四年度「支部事務の

手引き」について

○令和五年度「寿詞・賀寿・

賀詞」該当者調査につい

て

令和3年度会計決算報告

収入総額	4,774,370円
内訳	
・会費	3,709,200円
・雑収入	80,014円
・繰越金	985,156円
支出総額	4,208,367円
内訳	
・会議費	414,022円
・事務費	456,340円
・事業費	1,448,235円
・会費・負担金	1,005,440円
・積立金	880,000円
・予備費	4,330円
差引残額	566,003円

※差引残額は次年度への繰越金とする。

令和4年度会計予算書

収入総額	4,366,003円
内訳	
・会費	3,720,000円
・雑収入	80,000円
・繰越金	566,003円
支出総額	4,366,003円
内訳	
・会議費	616,000円
・事務費	475,000円
・事業費	1,476,000円
・会費・負担金	1,021,500円
・積立金	280,000円
・予備費	497,503円
差引残額	0円

令和3年度ぬくもり基金決算報告

収入総額	910,903円
内訳	
・繰越金	910,895円
・利子	8円
支出総額	0円
差引残額	910,903円

教員になり十数年過ぎた頃でした。子ども達の意識を多面的に数値に置き換えて意識の変化を見ようという取り組み先輩がられました。そしてそれを授業評価に繋げる試みでした。とても興味を持たされました。それが今にして思うと私のデジタル化との出会いだったように思います。私も参考にしてみたいです。

論壇

『私のデジタル化推進』

副会長 飯沼信一



は、ワープロ止まりです。私のデジタル化が広がったのは、定年退職後です。地域の人と広報誌の原稿のやり取りをする中でエクセルやワード、Eメール等の知識が必要になりました。更に進んだのはつい最近です。地区自治振興協議会の仕事を高齢と持病悪化を理由に辞めた方から引受け手伝い始めてからです。引き続きは、一本のUSBメモ

国は、ご存じの通り様々な分野でデジタル化を進めています。行政サービスのみならず学校教育の中にも浸透してきています。子ども一人一台タブレット端末を持つ時代です。新型コロナウイルスの登場は、様々な面にデジタル化推進を拡大させています。好むと好まざると世の中のデジタル化推進の影響を受けるを得なくなっています。ならばメリットとして取り込み、私のデジタル化も一歩進められたらと思っています。

ことは、今一般的に行われています。世の先端を進んでおられたのだなと思います。その後、私のデジタル化は、ワープロ止まりでした。美文字とは無縁でしたので勝手に活字に変え印字してくれるワープロ登場は、ワープロ様々に思えました。ウインドウズ登場でパソコン時代到来も私のデジタル化

リーと若干の資料だけでした。かつて現職や退職校長の仕事を引き継ぐのに前沢山の資料を引き継ぎました。今回は、USBメモリー一本と領収書綴、若干の用紙等だけでした。しかもUSBメモリーにはエクセルでシステム化された会計資料等も入っていました。データを入力すると一瞬に全てを処理してくれます。

福島県公立学校退職校長会でもデジタル化の推進に取り組んでいます。データ保管が段ボール箱からUSBメモリーになり、効率よく仕事の省力化ができる。情報共有も容易にできる。そんなメリットを取り込みながら更に多くの支部でデジタル化が推進拡大されたら良いなと思っています。

令和四年度
重点目標

次の四項目が本年度の重点目標として承認された。○本会が抱える諸課題の解決に向けた活動を強化する。

- 本会の将来ビジョンの具現
- 会員の高齢化と会員減少への対応
- 県事務局ホームページの開設とデジタル化の一層の推進
- 第七次福島県総合教育計画等に基づく学校、現役校長及び教育委員会等への支援
- 社会貢献活動等の奨励と機会の拡充
- 教員の魅力発信
- 県小・中学校長会及び高等学校長協会、県教育委員会からの要望などに応えるとともに、支部間の連絡調整を強化し、学校支援事業、地域学校協働活動などの教育振興のため社会貢献活動等の充実と拡大を図る。

○「双葉の灯を消さない」

よう、被災・避難された支部・会員への支援活動を継続し、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の被災体験を風化させない活動を推進する。

○新型コロナウイルス感染拡大防止のためガイドラインに基づき、新しい生活様式を取り入れた本会運営を徹底する。

〈新副会長紹介〉
県中南選出の萩原照夫副会長と浜選出の増井健二副会長が退任され、新しく次の二人が、副会長に選出された。



沢 宏一 副会長 (浜)



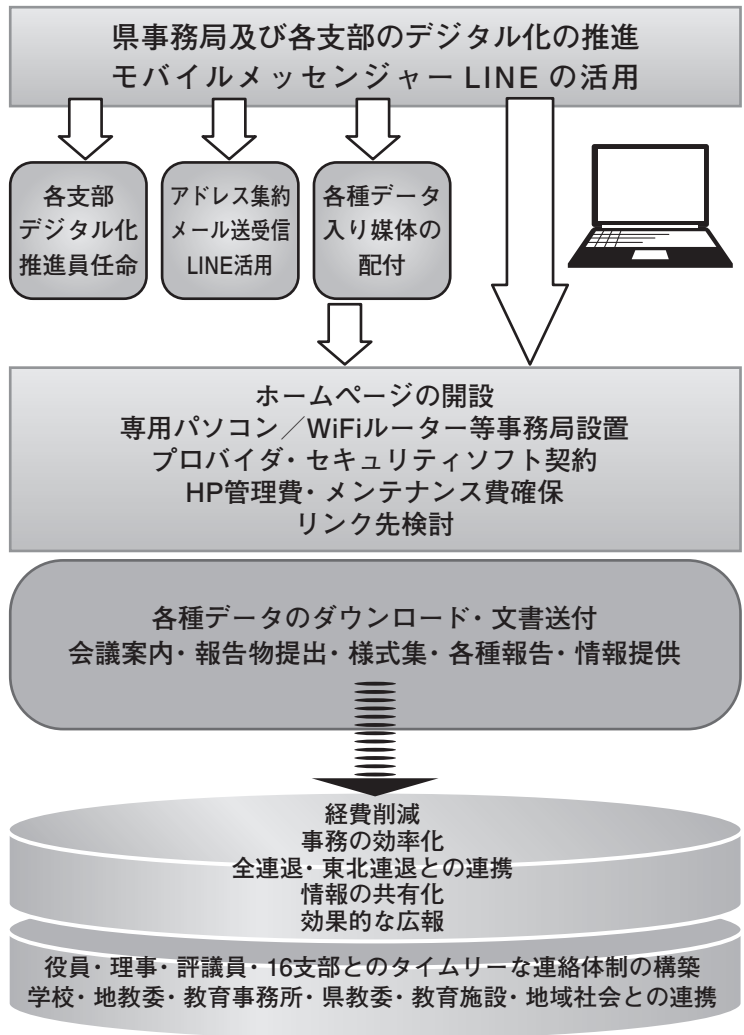
栗林正樹 副会長 (県中南)

令和4年度 福島県公立学校退職校長会役員名簿

(令和4年4月27日現在) (敬称略)

Table with columns for roles (顧問, 会長, 副会長, 監事, 評議員) and names of members. Includes a note at the bottom right: '・印は新任'.

令和4年度 デジタル化ビジョン



令和三年度 理事会報告

令和四年三月九日(水)、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、理事会が福島市吾妻学習センターで開催された。

◇報告事項

令和三年度新入会員数及び会員数、令和三年度ぬくもり基金決算報告、慶弔関係、新入会員の勧誘並びに事務手続きの確認、他

◇協議事項

令和三年度事業報告、令和三年度会計決算中間報告、令和三年度本会計各支部への還元金、令和四年度本会活動の重点目標案、令和四年度事業計画案、令和四年度予算編成の方針案、令和四年度会計予算案、令和四年度要望活動案、県退職校長会運営ビジョン案、県退職校長会デジタル化ビジョン案、県退職校長会ホー

◇連絡事項

令和四年度「寿詞・賀詞・賀詞」該当会員名簿、令和四年高齢者叙勲該当会員名簿、他 一部検討を要するも、各議題について承認された。

ムページ開設案、ぬくもり基金活用案、社会貢献活動、令和四年度教育懇談会開催要項案、第七回郡山大会大会宣言案、他